



さくらんぼだより

3月号

令和5年3月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリーこども園

21名の新たな旅立ち

～一歩踏み出す子どもたちへ“ありがとう”の気持ちを込めて～

園庭の梅の花が、暖かな春の日差しを待ち望みながら、一輪一輪、日ごとに花を咲かせています。

先日、ようやく鮮やかなオレンジ色になった園庭の“金柑”を1歳児クラスや2歳児クラスの子どもたちと食べてみました。子どもたちはそれぞれ一口ずつ食べ終えると、「もっとちょうだい！」と言わんばかりに次から次へと「あ～ん！」と口を開けておねだり！こんなに小さいうちから金柑の美味しさが分かるなんて、さすが“チェリーっこ”だなと思いました。また、園庭で遊ぶ子どもたちは服装も心なしか軽やかになり、サッカーや鬼ごっこ、木登りやターザンロープと、ほっぺを真っ赤にしながら元気に遊びまわっています。そしてスイミー組の子どもたちは、マット遊びに夢中になり、そこから“側転”に挑戦しています。側転を通して自分の身体をコントロールする面白さを感じてほしい、そして友だちと様々なことに挑戦する気持ちの大切さを子どもたちに伝えたい、そんな担任の思いを子どもたちはしっかりと感じ、友だち同士で励まし合いながら保育者と一緒に取り組んでいるところです。

今年度も、私たちは人間形成の基礎が培われる大切な乳幼児期を、子どもたちに寄り添い、命を預かるその責任を感じながら保育を行ってきました。毎日元気に「おはようございます！」と登園してくる子どもたちの笑顔と、「また明日ね！」と送り出せる保育者の笑顔、そんな当たり前の日常が本当は何よりも尊いことなのだと、震災を思い出すこの3月にいつも強く感じます。そして、地域の方々にいつも温かく見守っていただけていることに、感謝の気持ちが込み上げてきます。

3月11日(土)、震災から12年目のこの日に、スイミー組21名の子どもたちの卒園式を行います。仕事で忙しい日々の中でも、たくさんの愛情をかけて育ててこられたお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、そしてここまで大きく育ってきた子どもたちみんなに、“ありがとう”の感謝の気持ちを伝えたいと思います。

2023. 3. 1 園長 佐藤 真里枝

お知らせ

<卒園式について>

日時 3月11日(土) 9:30～

場所 西多賀チェリーこども園 ホール

* 例年、在園児代表ではらぺこあおむし組に参加のお願いをしていましたが、感染症予防のため今年も参加はありませんのでご了承ください。



<一年生になるお祝い会>

日時 3月24日(金)

* スイミー組の子どもたちの一年生になるお祝い会をします。感染症予防のため、当日は園児と職員のみで行います。昼食は、スイミー組の子どもたちが選んだ特別なお祝いメニューとなっていて、子どもたちも楽しみにしています！

おねがい

<延長保育利用の方へ>

* 新年度、延長保育を利用される方は新たに申し込みが必要となります。利用予定の方は、年度内に申し込みをして下さい。

行事予定

3月

日	曜日	行事
3	金	ひなまつり会
7	火	発育測定
10	金	避難訓練
11	土	卒園式
14	火	誕生会
24	金	一年生になるお祝い会
28	火	修了式

4月

日	曜日	行事
3	月	入園式
4	火	進級式
7	金	お花見会
11	火	発育測定
13	木	避難訓練
18	火	誕生会
28	金	こどもの日お祝い会



先日、テラスの掃除をしていた時に見た出来事です。0歳児クラスのSくんが2歳児クラスの靴箱から次々と靴を出しては入れ、出しては入れを繰り返していました。イタズラ盛りのSくんがぐちゃぐちゃに靴箱に入れてしまったので、直しに行こうかなと思っていたその時、2歳児クラスのHちゃんがやってきて、Sくんの側で全部靴を入れ直してくれていたのです。「これは、Kくんのだからこっちね。これはTちゃんのだね」と優しく語りかけているその姿に、Hちゃんの優しさを見ることができてとても心が温くなりました。そして、そんな姿を見ていた時に、ある広告を思い出しました。

「こころ」は だれにも見えないけれど「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど「思いやり」はだれにでも見える

その気持ちをカタチに

12年前の東日本大震災の後に流れていたテレビ広告です。覚えている方もいらっしゃるかと思います。あの時、本当に大変な災害でしたが、人々は「思いやり」の心を持って過ごし、お互いに助け合いながら大変な時を乗り越えてきました。チェリーこども園にも、保護者の方や地域の方々からたくさんの「こころづかい」をいただいたことを思い出します。今の子どもたちは震災の後に生まれており、これから大きくなっても震災の大変さを実感できない世代になっていくのかもしれませんが。しかし未曾有の被害だったこと、そこに暮らす方々の頑張りがあったこと、たくさんの人々の思いやりがあったこと。震災を経験した私たちが子どもたちに伝えていくことは大きな意味があると思っています。

その後、靴をキレイに片づけ終えたHちゃんは、Sくんに「バイバイ！」と手を振ってお部屋に帰っていきましました。そして担任の先生からもたくさん褒めてもらい、嬉しそうにしていたHちゃん。その姿が、何とも言えず可愛らしかったです。



母と子の絵本棚



「おおきくなるってことは」

さく 中川ひろたか え 村上康成 出版社 童心社

おおきくなるって、どういうことなのかな。子どもたちってどう感じているのかな。ということと一緒に考えてくれる絵本です。一つ大きくなることに期待をもっているこの時期の子どもたちと一緒に読んでみてはいかがでしょうか。大きくなるってこんなに素敵なことだと教えてくれる絵本です。

「はなをくんくん」

出版社 福音館書店

ぶん ルース・クラウド え マーク・シーモント

やく きじま はじめ

春を待ち望んでいる動物たちのわくわくする気持ちや、はやる気持ちが描かれています。ちいさな動物もおおきな動物も、はやる気持ちはみんな同じ。みんなはなをくんくんさせながら、雪の中をかけていきます。そこで見つけたものは…。春の訪れを知らせる、ぽっと咲いた黄色い花に心まであたたかくなる一冊です。

はなをくんくん



わらべうたであそぼう

♪おせんべ やけたかな♪



*地方によって、「おせんべ おせんべ やけたかな」など、いろいろな伝承があります。



おせんべ
やけたかな



おせんべに見たてあかちゃんの手を、人さし指でやさしくトントンします。「やけた！」で、その手をうらがえし、食べるまねをします。

やけた！
アムアム

版画

「のはらうた」くどう なおこ作

